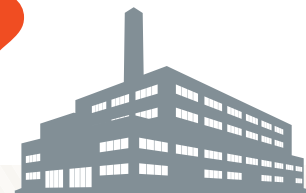


え!?

南区に日本最大の給食「工場」建設?

(センター)



看過できない5つの“リスク”

食中毒

災害時

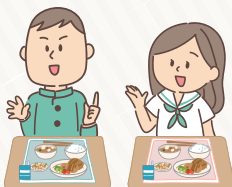
食育

リスク分散が時代の流れ

安全で美味しい中学校給食を!との子どもや保護者の切実な願いに対して、京都市は突如、南区(塔南高校グラウンド・東吉祥院公園)に日本最大の給食「工場」(26,000食)建設計画を発表しました。市民・保護者、全国の給食関係者から疑問や驚きの声が沸き上がっています。

リスク1 手作り・でき立てのよさが失われる!

今の小学校給食は、野菜のシャキシャキ感、手作りシチューの滑らかな舌触りなど、五感でおいしさを楽しめます。超大量調理では、色も食感も匂いも落ちてしまいます。さらに、26,000食では、献立も限定されます。食べることを通じて心身の成長を育む、思春期の中学生にこそ、“手作り・でき立て”の給食を提供しましょう!



リスク2 2時間以内の配送は無理?



給食は、食中毒発生のリスクを下げるために「作って2時間以内に食べることをめざす(学校給食衛生管理基準)となっています。特に観光シーズン交通渋滞の多い京都市。さらに、トラック労働者不足が深刻になる2024年問題(労働時間規制開始)がある中、トラック労働者からは、「運送を甘く考えているのでは」と驚きの声!

リスク3 水害・停電などで供給停止も

塔南高校グラウンドは、ハザードマップで3.5mまで浸水する危険が想定される場所。地震や水害で給食がストップした事例(福知山市)も。さらにグラウンドは都市公園です。地域住民からは、「公園に戻してほしい」「スポーツできる場所に」との声も。巨大な工場建設と大量のトラック運行で、「住環境が悪化するのでは」との心配の声が広がっています。

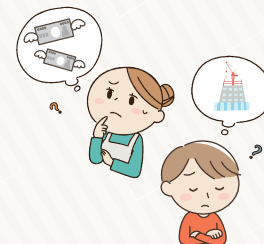
リスク4 「食育」の後退は必至!

文科省も2008年に「学校給食法」を改正し、「食育」の重要性を掲げています。栄養教諭の配置は、自校方式だと約30人。センター方式だと3人しか配置されません。その3人も、各学校の「食育」に関わることは、ほとんどできません。さいたま市では、センター給食を自校給食に切り替え、全校に栄養教諭等を配置しました。



リスク5 「工場」建設で費用膨張か?

日本最大の給食「工場」建設については、地元の理解、埋蔵物発掘調査、建設資材の確保など困難が予想されます。京都市より小規模の宇治市でも完成まで8年を予定。自校・学校調理は新たな用地確保の必要もなく、できる学校から早期給食開始が可能です。さらに、大工場は万博のように建設経費の上振れの心配もあります。



福山和人さんは、 手作り・安全な「学校調理」の 中学校給食の**早期実現をめざします！**

小・中学校の
給食費
半額無償に

くらし。ここから
京都再生

弁護士・無所属市民派

福山 和人

Profile

1961年3月5日、京都市伏見区生まれ。宇治市で幼少期を過ごし、府立城南高校では野球部で活躍。立命館大学法学部卒業。2001年に弁護士登録。2015年度に京都弁護士会副会長。2018年京都府知事選挙に出馬。2020年京都市長選挙に出馬。家族は妻と長女と長男。

学校調理(自校・親子方式など)は

十分に可能



京都市教委に検討を依頼されたコンサル(長大)は、市教委が自校でできるとしていた24校も、ほとんど「できない」としました。しかし、お隣の大阪市は、4年ですべての中学校の給食を自校・親子方式で実施しました。ようは、“やる気”の問題です。福山和人さんは議会や市民の声を聞き、学校調理方式で“手作り・でき立て”の中学校給食の実現をめざします。

地元業者・農家と連携して

豊かな給食を!

地域経済も

ウハウハ(活性化)

学校給食は、**地域経済の活性化**にとっても大切な役割を果たしています。子どもたちの身近で生産された農産物を使った給食は、食文化や農業や地域を学ぶ機会になります。より安全な地場産や有機食材(農薬など不使用)を学校給食に取り入れ、地元の生産者の経済活動の大きな力にもなっています。**巨大給食「工場」では困難**です。

食糧危機が叫ばれる中、福山和人さんは、給食を通して持続可能な社会の実現をめざします。

小・中学校給食費の

半額無償に



今、給食費の無償化が全国ですすんでいます。福山和人さんは早期に中学校給食を実施し、**小・中学校の給食費を半額無償化**をめざします。また、国や京都府に無償化を支援するよう求めます。

さらに食育充実!!

栄養教諭配置拡大、給食調理員の確保も!



京都市では、小学校の給食調理員の正規採用を行わず、調理業務の民間委託や低賃金の嘱託調理員(会計年度任用職員)に切り替えてきました。福山和人さんは、ゆき過ぎた**民営化をストップし、雇用を守る**とともに、安心して働ける環境をととのえます。また、食育を担う**栄養教諭については、段階的に全校配置**をめざします。

